

令和7年度 生徒総会 ～スローガン決定～

『星～Our own light～』

5月14日(水)に生徒総会が行われ、今年度の生徒会スローガン等が承認されました。後日生徒会長の^{おおしたなおひろ}大下真寿さんに設定理由について伺うと、「夜空に無数に輝く星は、その輝き方はいくつもあり様々です。これは宮北生も同じです。いつも前向きに頑張っている人、見えないところでも一人で黙々と頑張っている人。それぞれがその人の輝き方であり、それが個性です。また、校歌の3番に『進取の光 北の星』とあるように、『目指すもの』という意味もあります。それぞれの『北の星』を見つけて目指してほしい。生徒一人ひとりが誰かの『北の星』になるかもしれない。そんな意味を込めて設定しました」と熱く語っていただきました。昨年度のスローガン【COLOR～輝かせよう 一人一人の色を～】に続いて宮北生を象徴するようなスローガンとなりました。

当日の生徒総会では、各議案に対する質問や意見が多数提出されました。どれもが肯定的・建設的なものばかりで、生徒の皆さんが学校生活をよくしよう、楽しく送ろうという意気が見られました。準備から開催までを担った生徒会の皆さん、大変お疲れ様でした。



令和7年5月22日
5月号
発行: 宮古北高等学校



学ぶ防災

田老地域の歴史や震災について学ぶ

一年生は五月二日(金)、総合的な探究の時間において防災学習を行いました。学ぶ防災のガイドさんの案内で、防潮堤、三王岩とその周辺の散策、震災遺構「たろう観光ホテル」の見学を行い、ホテルの中でこれまでの地震、津波について学び、震災時のビデオを視聴し、ガイドさんから講話をいただきました。

多くの生徒が、津波の威力や恐ろしさ等を再認識したようでした。岩船織良さんは、「防潮堤があるから安心と思わず、まずは逃げるのが大切だと分かった」と、上田倭姫菜さんは、「自分が地震に慣れているんだなと気づかされた」とそれぞれ理解しました。また千崎将乃介さんは、「今回の学びを、震災を知らない若い世代に伝えたい」との思いを強くしました。今回学んだことのまとめを、六月十八日(水)の宮北の森③で全校生徒に対して発表する予定です。学んだだけで終わりにするのではなく、人前で発表することにより深い学びになることでしょう。その日が楽しみです。

宮北の森② 高総体壮行式

五月二十一日(水)二回目の宮北の森において、高総体壮行式を実施しました。高総体に出場するバドミントン部の三年関川暖人さんが、二年鈴木煌翼さんの先導の下、堂々と入場式が始まりました。生徒会長の^{おおしたなおひろ}大下真寿さんが「緊張する力を出せない。リラックスして思う存分戦ってください」とユーモアを交えながら激励の言葉を述べました。三浦顕悟校長先生は、「激励の言葉はこれから歌う歌のすべてです」とゆずの「栄光の架け橋」をギター演奏し、ボーカル吉田実先生、ピアノ

MIYAKITA'S SCHOOL LIFE

宮北生のリアルな姿をお届けします。授業、放課後 etc どうぞご覧ください。



たてはらまなみ 館洞菜奈美先生のユニットで熱唱しました。さらに「勝つことがすべてではないが、勝敗はついてしまう。結果を気にせずに頑張ってきてほしい」と話されました。関川さんからは「壮行式ありがとうございました。頑張ってください」と力強い宣言がなされました。大会は五月二十三日(金)から奥州市で開催されます。期待しましょう。

お知らせ

学校ウェブページ、ノートへのアクセスがしやすいようQRコードを載せます。ノートのページでは主に行事での様子を写真中心にお伝えしていきます。ぜひアクセスしてください。

学校ウェブページ



ノートのページ



【編集後記】

五月も半ばを過ぎたのに寒暖差が激しく、なかなか気候が安定しない日々です。若干体調不良者もおりますが、宮北生は元気に生活しております。

来月は、前期中間考査、本校独自の行事であるオリンピア、商業系の各種検定もあり宮北生はハードな日々を過ごすことになりそうです。梅雨も始まるでしょうから、より一層体調管理に留意して、明るく楽しく学校生活を送ってほしいと思います。

令和七年五月二六日
文責 宮古北高校副校長